

平成 23 年（2011 年）7 月 20 日

大阪府支援教育研究会会員 様
特別支援教育関係者 様

大阪府支援教育研究会
会 長 藤原 義彦
(堺市立浅香山中学校 校長)

大支援研 ICT 活用プロジェクト夏期講座案内（2 次案内）

大阪府支援教育研究会 ICT 活用プロジェクト夏期講座を下記の要領で実施いたします。
多数のご参加をお待ちしております。

記

1. テーマ 9 月から使える支援教育での ICT 活用
2. 日 時 8 月 16 日（火）、17 日（水）（午前講座：9:30～12:30、午後講座：13:30～16:30）
3. 会 場 大阪府教育センター
〒558-0011 大阪市住吉区苅田 4-13-23
 - ・地下鉄御堂筋線
「あびこ」駅下車 ①番出口、東北東へ約 700m
 - ・JR 阪和線
「我孫子町」駅下車、東へ約 1,400m
 - ・近鉄南大阪線
「矢田」駅下車、西南西へ約 1,700m**※公共交通機関でのご来場をお願いします。**
4. 参加費 無料（ただし、材料費等が必要な講座があります）
5. 定 員 各講座先着順で定員まで受け付け：申し込み状況を HP でお知らせします。
6. 申し込み 下記申込先まで、以下の内容を明記の上、
e-mail または fax にてお申し込みください。
 - 1) 氏名・所属
 - 2) 連絡先（e-mail または fax）
 - 3) 参加希望講座記号
 - 4) 懇親会参加の有無（16 日講座終了後開催）（※会場予定 大阪府教育センター近辺のお店）
7. 申し込み先 平峰 厚正（泉南郡熊取町立南小学校）
問い合わせ fax：072-452-2972
e-mail：ict2011※daishienken.visithp.com
（※印を@に変えてください）
※問い合わせはできる限り、パソコンの e-mailにてお願いします。
なお件名は「大支援研 ICT 活用夏期講座 問い合わせ」でお願いします。
※会場の大阪府教育センターに直接電話等で問い合わせしないようにお願いします。
8. 講 座
講座は、両日とも午前の部（AM）9：30～12：30、午後の部（PM）13：30～16：30 で設定しておりますが、講座によっては、複数の時間帯にまたがるものもございます。各講座の時間帯をご確認のうえ、参加講座をお選びください。

講座一覧

※別紙や大支援研 HP に講座内容概略または必要な物などが書かれています。必ずご覧ください。

| 講 座 | | 16日 (火) | | 17日 (水) | |
|-----|---|---------|----|---------|----|
| 記号 | 講 座 名 | AM | PM | AM | PM |
| A | 「特別支援教育における情報機器の活用と課題」 ～一人一人に応じた指導と協働学習の推進～ 講師：丹羽 登 先生 定員50名 会場：第10研修室★半日講座 | ○ | | | |
| B | あなたも作れるFlash講座 講師：神佐 博 先生 定員15名 (部分参加不可) 会場：第10研修室☆1日半講座 (要：パソコン持参) | | ○ | ○ | ○ |
| C | クリック教材から選択教材へ ～Flashでスキャン教材ソフトをつくろう～ 講師：竹島 久志 先生 吉村 史郎 先生 吉田 悠亮 先生 高橋 健一 先生 (部分参加不可) 定員10名 16日開催講座 会場：CAI 研修室☆1日講座 (要：パソコン持参) | ○ | ○ | | |
| D | クリック教材から選択教材へ ～Flashでスキャン教材ソフトをつくろう～ 講師：竹島 久志 先生 吉村 史郎 先生 吉田 悠亮 先生 高橋 健一 先生 (部分参加不可) 定員10名 17日開催講座 会場：CAI 研修室☆1日講座 (要：パソコン持参) | | | ○ | ○ |
| G | 製作講座1 ラッチアンドタイマー製作 講師：禿 嘉人 先生 外山 世志之 先生 谷本 式慶 先生 定員20名 (材料費：4000円) 会場：電子技術実験室☆1日講座 | | | ○ | ○ |
| H1 | 大前ソフトの紹介 「大前ソフト」の解説と「USB インターフェースの活用について」 講師：大前 洋介 先生 田中 敏弥 先生 定員30名 午前会場：第6研修室★午前半日 | ○ | | | |

| 講 座 | | 16日(火) | | 17日(水) | |
|-----|--|--------|----------|--------|----|
| 記号 | 講 座 名 | AM | PM | AM | PM |
| H2 | 製作講座2「USB入インターフェース(スイッチ入力機器)」 講師：田中 敏弥 先生 大前 洋介 先生 定員 10 名 (材料費：3500 円) 午後会場：物理基本技術実験室★午後半日 | | 受付 終了 | | |
| I | 特別支援教育における ICT と AT の活用 講師：金森 克浩 先生 定員 40 名 会場：第 6 研修室★半日講座 | | ○ | | |
| J | 中重度の知的障害児にも ICT ! iPad ができるこんな授業 講師：佐原 恒一郎 先生 定員 40 名 会場：第 6 研修室★半日講座 | | | ○ | |
| K | マルチメディア DAISY の紹介と事例報告 講師：田中 直壽 先生 定員 40 名 会場：第 5 研修室★半日講座 | ○ | | | |
| L | 「DAISY」の概要と実習 講師：濱田 麻邑 先生 定員数変更 20 名 会場：第 5 研修室★半日講座 | | ○ | | |
| M | ICT を活用した算数障がいへのアプローチ 講師：近藤 春洋 先生 定員 40 名 会場：第 5 研修室★半日講座 | | | ○ | |
| N | あなたも作れるパワーポイント教材 講師：久津名 祐子 先生 大島 友子 先生 定員 30 名 会場：情報教育研修室☆1日講座 | | | ○ | ○ |
| O | ムービーメーカーを使った簡単動画と写真の編集 講師：梅田 知恵 先生 定員数変更 20 名 会場：情報教育研修室☆1日講座 | ○ | ○ | | |

※大支援研 HP (<http://daishienken.visithp.com/>) に UP します。HP もご確認ください。

9. 懇親会 16日(火)の講座終了後、懇親会を予定しております。
(参加費は実費で、会場は当日、お知らせします。会場は大阪府教育センター近辺です。)
※参加いただける方は、申し込み時にお知らせください。

10. 講座申し込み締切日 講座 H2 は受付終了。他講座は定員数に達するまで受付延長。

11. 備 考 ※定員に満たない講座は、当日参加も可能です。

HP の参加者状況をご確認ください。

ただし、準備上の都合がありますので、できる限り、7 月末までに事前申し込みをお願いします。

※定員を超えた場合を除いて、参加の可否は連絡いたしません。

※講座 B C D は、「要：パソコン持参」です。講座内容詳細の備考欄をご確認のうえ、指定の条件のパソコンをご持参ください。

★大阪府教育センター内では名札が必要ですので、各自で名札をご持参ください。

★16 日は、第 9 研修室で支援教育機器の展示会を実施しております。

大支援研 ICT 活用プロジェクト夏期講座 各講座内容概略

各講座内容の概略です。備考欄には、参加に必要な機器や持参する物等の記載がございますので、よくお読みください。

| | | | |
|--|--|-----------|------|
| 講座 A | 16 日（火）9:30～12:30 | 定員 | 50 名 |
| 講座名 | 「特別支援教育における情報機器の活用と課題」 ～一人一人に応じた指導と協働学習の推進～ | | |
| 講師 | 丹羽 登 先生（文部科学省初等中等教育局特別支援教育課 特別支援教育調査官） | | |
| 内容&紹介 | | | |
| ICT 全般の話や支援機器、そしてその製作などの話を含め「教育の情報化ビジョン」について幅広い内容でご講演していただけます。 | | | |

| | | | |
|---|--------------------------------------|-----------|------|
| 講座 B | 16 日（火）13:30～16:30、17 日（水）9:30～16:30 | 定員 | 15 名 |
| 講座名 | あなたも作れる Flash 講座 | | |
| 講師 | 神佐 博 先生（石川県立七尾特別支援学校 教頭） | | |
| 内容&紹介 | | | |
| ホームページに掲載されている KANZA SOFT 集の 249 番「おと いくつ？」などマッチングソフト作りを予定しています。 | | | |
| 備考 | | | |
| ※講座 B は Macromedia Flash または Adobe Flash の製品版か体験版がインストールされたパソコンが必要です。（Flash は、最新のものでなくてよいので、CS3 以下でも OK！） 講座補助スタッフがつきます。 | | | |

| | | | |
|---|---|-----------|------|
| 講座 C | 16 日（火）9:30～16:30 | 定員 | 10 名 |
| 講座名 | クリック教材から選択教材へ：Flash でスキャン教材ソフトをつくらう 16 日開催講座 | | |
| 講師 | 竹島 久志先生（仙台電波工業高等専門学校 電子工学科 教授） 吉村 史郎先生（東京都立村山特別支援学校 教諭） 吉田 悠亮先生（東北大学大学院教育情報学教育部 修士 2 年） 高橋 健一先生（仙台高等専門学校専攻科 専攻科 1 年） | | |
| 内容&紹介 | | | |
| <p>重度肢体不自由児の学習に必要なとなる、少数スイッチで選択操作可能な学習ソフトを Flash で作ります。通常、1 スイッチで複数選択肢の選択行為をさせるためには選択肢をスキャンする必要があり、複雑なプログラミングが必要です。しかし、こちらで開発したソフトウェア（スイッチ入力機能ライブラリ）を利用することにより、容易にスキャン操作を実現できます。</p> <p>午前は、このスイッチ入力機能ライブラリの使い方を説明し、それを利用して簡単なサンプルソフトを作ります。午後は、各自オリジナルの選択教材ソフト制作に挑戦します。</p> | | | |
| 備考 | | | |
| <p>※講座 C と講座 D は、同じ内容の講座です。ご都合の良い日にご参加ください。</p> <p>※講座 C では Adobe Flash（Macromedia Flash8 以降のバージョン）をインストールしたパソコンをお持ちください。製品版をお持ちでない方は、体験版 Flash CS5 または CS5.5 をインストールしてきてください。基本的には Flash のソフトを作ったことのある方を対象としますが、未経験の方で体験されたい方の受講も可能です。申し込み時にお申し出ください。できるだけサポートします。オリジナルの選択教材ソフト制作に使う素材（シンボル、写真、ムービー）があれば各自持ってきてください。</p> | | | |

| | | | |
|------------|---|-----------|-----|
| 講座D | 17日(水) 9:30~16:30 | 定員 | 10名 |
| 講座名 | クリック教材から選択教材へ: Flashでスキャン教材ソフトをつくらう 17日開催講座 | | |
| 講師 | 竹島 久志先生(仙台電波工業高等専門学校 電子工学科 教授) 吉村 史郎先生(東京都立村山特別支援学校 教諭) 吉田 悠亮先生(東北大学大学院教育情報学教育部 修士2年) 高橋 健一先生(仙台高等専門学校専攻科 専攻科1年) | | |

内容&紹介

重度肢体不自由児の学習に必要な、少数スイッチで選択操作可能な学習ソフトをFlashで作ります。通常、1スイッチで複数選択肢の選択行為をさせるためには選択肢をスキャンする必要があり、複雑なプログラミングが必要です。しかし、こちらで開発したソフトウェア(スイッチ入力機能ライブラリ)を利用することにより、容易にスキャン操作を実現できます。

午前は、このスイッチ入力機能ライブラリの使い方を説明し、それを利用して簡単なサンプルソフトを作ります。午後は、各自オリジナルの選択教材ソフト制作に挑戦します。

備考

※講座Cと講座Dは、同じ内容の講座です。ご都合の良い日にご参加ください。

※講座DではAdobe Flash(Macromedia Flash8以降のバージョン)をインストールしたパソコンをお持ちください。製品版をお持ちでない方は、体験版Flash CS5またはCS5.5をインストールしてきてください。基本的にはFlashのソフトを作ったことのある方を対象としますが、未経験の方で体験されたい方の受講も可能です。申し込み時にお申し出ください。できるだけサポートします。オリジナルの選択教材ソフト制作に使う素材(シンボル、写真、ムービー)があれば各自持ってきてください。

| | | | |
|------------|---|-----------|-----|
| 講座G | 17日(水) 9:30~16:30 | 定員 | 20名 |
| 講座名 | 製作講座1「ラッチアンドタイマー製作」 | | |
| 講師 | 禿 嘉人先生(東京都立光明特別支援学校教諭) 外山 世志之先生(東京都立光明特別支援学校教諭) 谷本 式慶先生(東京都立八王子東特別支援学校教諭) | | |

内容&紹介

『重度心身障害者コミュニケーション支援のためのパルス出力付きスイッチラッチ&タイマーの製作。スイッチを押し続けることが難しい場合に、この装置を使うと一定時間おもちゃ等をONにしたり(タイマー)、スイッチを押し続けなくてもONを継続させること(ラッチ)ができます。』

備考

材料費:4000円です。補助スタッフがつきます。

| | | | |
|---|--|----|------|
| 講座 H 1 | 16 日（火）講義 10:30～12:30 | 定員 | 30 名 |
| 講座名 | 講義「大前ソフト」の解説と「USB インターフェースの活用について」 | | |
| 講師 | 大前 洋介 先生（神戸市立青陽東養護学校 教諭） 田中 敏弥 先生（大阪市立住之江特別支援学校 教諭） | | |
| 内容&紹介 | | | |
| <p>パソコンはあるのに、操作が複雑すぎて児童生徒が楽しめるソフトがない…どうしたらいいの？と悩んでいる方はいらっしゃいませんか？「大前ソフト」にはワンクリックで遊べるソフトがたくさんあります。</p> <p>この講座では「大前ソフト」の紹介と自作の「USB インターフェース（スイッチ入力機器）」を使って、実際に試していただく予定です。同日午後の製作講座で本講座にて紹介した「USB インターフェース」の製作ができます。また、応用例として時間があれば読み上げソフト「和太鼓」との連携も紹介します。※講義と製作を合わせて2コマの予定です。※会場が午後は物理基本技術実験室になります。</p> | | | |
| 備考 | | | |
| 講座補助スタッフつきます。 | | | |

| | | | |
|--|--|----|------|
| 講座 H 2 | 16 日（火）製作 13:30～16:30 | 定員 | 受付終了 |
| 講座名 | 製作講座2 「USB 入力インターフェース（スイッチ入力機器）」 | | |
| 講師 | 田中 敏弥 先生（大阪市立住之江特別支援学校 教諭） 大前 洋介 先生（神戸市立青陽東養護学校 教諭） | | |
| 内容&紹介 | | | |
| <p>午前 H 1 の続きの製作講座です。マウスの操作ができないと、PC を使った学習活動はできない？と思いませんか？「USB 入力インターフェース」を使えば、スイッチで操作での PC 活用の可能性が増します。「REVUVE USB」という市販のキットを使い、自作の「USB 入力インターフェース」を作ってみませんか？「大前ソフト」や読み上げソフト「和太鼓」と連携をして、2 学期から使える ICT 活用機器をお持ち帰り下さい。人数 10 人（午前中の「大前ソフト」の講義を受けて下さい。）この講座の製作費用は3500円程度を予定しています。※「大前ソフト」の提供も考えています。</p> | | | |
| 備考 | | | |
| 講座補助スタッフつきます。午前の H 1 の講座を必ず受講してください。 | | | |

| | | | |
|---|--|----|------|
| 講座 I | 16 日（火）13:30～16:30 | 定員 | 40 名 |
| 講座名 | 特別支援教育における ICT と AT の活用 | | |
| 講師 | 金森 克浩 先生（独立行政法人国立特別支援教育総合研究所 教育情報部総括研究員） | | |
| 内容&紹介 | | | |
| 特別支援教育を進める上で大切になる ICT や AT について、国内外の状況を国立特別支援教育総合研究所の「i ライブラリー」や研究成果を紹介しながら解説します。 | | | |

| | | | |
|---|---------------------------------|----|-----|
| 講座 J | 17日(水) 9:30~12:00 | 定員 | 40名 |
| 講座名 | 中重度の知的障害児にも ICT! iPad でできるこんな授業 | | |
| 講師 | 佐原 恒一郎 先生(千葉県立つくし特別支援学校 教諭) | | |
| 内容&紹介 | | | |
| 一般的に ICT 利用教育の対象から外れがちな中重度の知的障害児にも ICT 利用教育はできます。その有力なツールとして、最近普及してきたタブレット端末があります。代表的なタブレット端末である iPad を使った中重度の知的障害児への実践紹介と実践を行う際のポイントを紹介していきます。 | | | |
| 備考 | | | |
| ※iPad やスマートフォンなどタブレット端末を持っているなら、持ってきてください。なくても受講できます。 | | | |

| | | | |
|---|---------------------------|----|-----|
| 講座 K | 16日(火) 9:30~12:30 | 定員 | 40名 |
| 講座名 | マルチメディア DAISY の紹介と事例報告 | | |
| 講師 | 田中 直壽 先生(大阪府立和泉支援学校 指導教諭) | | |
| 内容&紹介 | | | |
| マルチメディアデイジー図書の紹介と大阪マルチメディアデイジー研究会が進めている小学校・中学校・支援学校でデイジー図書を使った授業実践の事例報告を行います。 | | | |

| | | | |
|--|----------------------------|----|-----|
| 講座 L | 16日(火) 13:30~16:30 | 定員 | 20名 |
| 講座名 | 「DAISY」の概要と実習 | | |
| 講師 | 濱田 麻邑 先生(日本 DAISY コンソーシアム) | | |
| 内容&紹介 | | | |
| 「DAISY」は、学習障害、知的障害、視覚障害、肢体不自由など、「読むことが難しい」様々な方の学習を助けるアクセシブルな情報システムです。海外では、障害のある子どもの教科書や教材として広く使われていますし、日本でも DAISY 版教科書の申請ができるようになりました。この講座では、DAISY の概要をご説明し、実際に DAISY の図書をパソコンで作成・再生する実習も行います。 | | | |
| 備考 | | | |
| ワード 2007 のバージョンを使って DAISY 図書の作成を行います。もしパソコンを持参できるならワード 2007 をインストールして持ってきてください。※パソコンを持参できなくてもこの講座に参加することはできます。 | | | |

| | | | |
|---------------------------------------|------------------------------|----|-----|
| 講座 M | 17日(水) 9:30~12:00 | 定員 | 40名 |
| 講座名 | ICT を活用した算数障がいへのアプローチ | | |
| 講師 | 近藤 春洋 先生(YCC こども教育研究所 主任研究員) | | |
| 内容&紹介 | | | |
| 算数障がいのある子どもたちに ICT を活用した支援・指導法を紹介します。 | | | |

| | | | |
|--|--|-----------|-----|
| 講座N | 17日(水) 9:30~16:30 | 定員 | 30名 |
| 講座名 | あなたも作れるパワーポイント教材 | | |
| 講師 | 久津名 祐子 先生(大阪府立吹田支援学校 教諭) 大島 友子 先生(マイクロソフト株式会社 技術統括室 アクセシビリティ担当) | | |
| 内容&紹介 | | | |
| <p>学校行事などでのスケジュール表示としてのパワーポイントの活用はおなじみとなりました。昨年度に引き続いて、「教材作り」としてのパワーポイントの活用を考えたいと思います。</p> <p>午前中は実際に授業で使った教材の紹介と、マイクロソフト株式会社の大島さんから「PowerPoint」の特別支援学校での活用概要(Webサイト紹介)「Mouse Mischief 紹介(一台のPCで複数のマウスを使用)」をしていただきます。午後は参加された皆さんと一緒にパワーポイントで使える教材の制作をしましょう。一人一作品が目標です。</p> | | | |
| 備考 | | | |
| 情報教育研修室に設置してある30台のパソコンを使用します。講座補助スタッフつきます。 | | | |

| | | | |
|---|-------------------------|-----------|-----|
| 講座O | 16日(火) 9:30~16:30 | 定員 | 20名 |
| 講座名 | ムービーメーカーを使った簡単動画と写真の編集 | | |
| 講師 | 梅田 知恵 先生(大阪府立茨木支援学校 教諭) | | |
| 内容&紹介 | | | |
| この講座では、ムービーメーカーというソフトを使っての簡単な動画編集について研修します。 | | | |
| 備考 | | | |
| 情報教育研修室に設置してある30台のパソコンを使用します。講座補助スタッフつきます。 | | | |